

## 運用報告書 (全体版)

### 新光トルコ・リラ債券ファンド (毎月決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2012年12月27日から2022年12月26日まで	
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	当ファンド	新光トルコ・リラ債券マザーファンド受益証券
	新光トルコ・リラ債券マザーファンド	トルコ・リラ建ての公社債
組入制限	当ファンドの新光トルコ・リラ債券マザーファンド組入上限比率	制限なし
	新光トルコ・リラ債券マザーファンドの株式組入上限比率	株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とし、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限り、）の行使により取得したものに限り、
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、利子収益相当と判断される額を基礎として、実質的な留保益の水準等を考慮した上で委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

愛称：トルコの風

第73期	<決算日	2019年1月25日>
第74期	<決算日	2019年2月25日>
第75期	<決算日	2019年3月25日>
第76期	<決算日	2019年4月25日>
第77期	<決算日	2019年5月27日>
第78期	<決算日	2019年6月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「新光トルコ・リラ債券ファンド (毎月決算型)」は、2019年6月25日に第78期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>  
 コールセンター：0120-104-694  
 受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで  
 お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2  
<http://www.am-one.co.jp/>

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額				JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン		債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分	込 配	み 金	期 騰	中 率		
	円		円		円換算	%	%	百万円
49期(2017年1月25日)	5,034		55	△	15,295.15	9.2	92.8	360
50期(2017年2月27日)	5,237		55		16,150.95	5.1	93.8	373
51期(2017年3月27日)	5,108		55	△	15,944.76	1.4	94.0	363
52期(2017年4月25日)	5,146		55		16,267.85	1.8	95.0	383
53期(2017年5月25日)	5,220		55		16,735.55	2.5	95.9	387
54期(2017年6月26日)	5,304		55		17,209.71	2.7	94.8	393
55期(2017年7月25日)	5,183		55	△	16,999.19	1.2	95.2	373
56期(2017年8月25日)	5,172		55		17,162.71	0.8	95.8	371
57期(2017年9月25日)	5,239		55		17,527.63	2.4	94.9	397
58期(2017年10月25日)	4,856		55	△	16,349.29	6.3	95.9	365
59期(2017年11月27日)	4,342		55	△	14,631.96	9.5	95.9	327
60期(2017年12月25日)	4,614		55		15,875.32	7.5	94.9	341
61期(2018年1月25日)	4,544		55	△	15,869.29	0.3	93.9	334
62期(2018年2月26日)	4,391		55	△	15,569.88	2.2	94.7	321
63期(2018年3月26日)	4,000		55	△	14,163.97	7.7	94.6	293
64期(2018年4月25日)	4,004		55		14,490.37	1.5	96.8	294
65期(2018年5月25日)	3,249		55	△	11,697.75	17.5	93.8	245
66期(2018年6月25日)	3,213		55		11,716.07	0.6	94.7	242
67期(2018年7月25日)	2,931		55	△	10,536.66	7.1	93.0	229
68期(2018年8月27日)	2,139		55	△	7,429.90	25.1	91.0	170
69期(2018年9月25日)	2,216		55		8,341.15	6.2	91.1	180
70期(2018年10月25日)	2,373		55		9,194.27	9.6	91.7	211
71期(2018年11月26日)	2,761		35		11,221.32	17.8	94.8	261
72期(2018年12月25日)	2,653		35	△	10,987.07	2.6	94.2	265
73期(2019年1月25日)	2,768		35		11,564.17	5.7	94.1	267
74期(2019年2月25日)	2,800		35		11,838.15	2.4	92.6	276
75期(2019年3月25日)	2,496		35	△	10,578.63	9.6	94.7	272
76期(2019年4月25日)	2,337		35	△	9,796.37	5.0	95.3	257
77期(2019年5月27日)	2,137		35	△	9,080.43	7.1	93.9	239
78期(2019年6月25日)	2,407		35		10,712.00	14.3	94.3	271

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※△（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

※債券組入比率は実質比率を記載しております。

※JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン（円換算）は、JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン（現地通貨）をアセットマネジメントOneが円換算したものです。

※JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン（円換算）は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準（目標基準）となる指標をいい、約款または投資信託説明書（目論見書）において、その旨の記載があるものを指します。

※JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン（現地通貨）に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

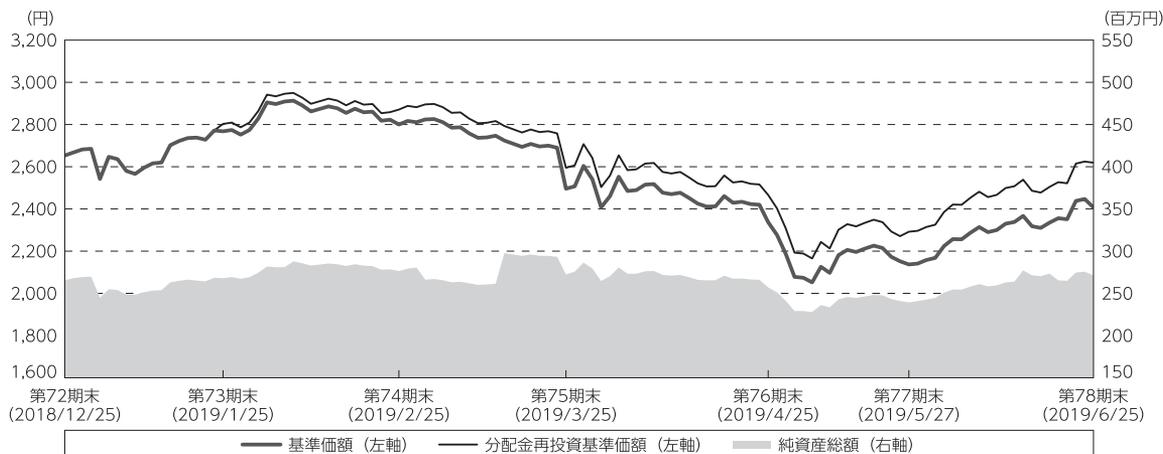
決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン (円換算)		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	騰 落 率	
第73期	(期 首) 2018年12月25日	円 2,653	% —	10,987.07	% —
	12月末	2,685	1.2	11,155.83	1.5
	(期 末) 2019年1月25日	2,803	5.7	11,564.17	5.3
第74期	(期 首) 2019年1月25日	2,768	—	11,564.17	—
	1月末	2,828	2.2	11,811.48	2.1
	(期 末) 2019年2月25日	2,835	2.4	11,838.15	2.4
第75期	(期 首) 2019年2月25日	2,800	—	11,838.15	—
	2月末	2,824	0.9	11,940.75	0.9
	(期 末) 2019年3月25日	2,531	△ 9.6	10,578.63	△10.6
第76期	(期 首) 2019年3月25日	2,496	—	10,578.63	—
	3月末	2,408	△ 3.5	9,918.66	△ 6.2
	(期 末) 2019年4月25日	2,372	△ 5.0	9,796.37	△ 7.4
第77期	(期 首) 2019年4月25日	2,337	—	9,796.37	—
	4月末	2,277	△ 2.6	9,524.93	△ 2.8
	(期 末) 2019年5月27日	2,172	△ 7.1	9,080.43	△ 7.3
第78期	(期 首) 2019年5月27日	2,137	—	9,080.43	—
	5月末	2,224	4.1	9,497.68	4.6
	(期 末) 2019年6月25日	2,442	14.3	10,712.00	18.0

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

※債券組入比率は実質比率を記載しております。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移（2018年12月26日～2019年6月25日）



第73期首：2,653円

第78期末：2,407円（既払分配金：210円）

騰落率：△ 1.3%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示してあります。
- (注5) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の変動要因

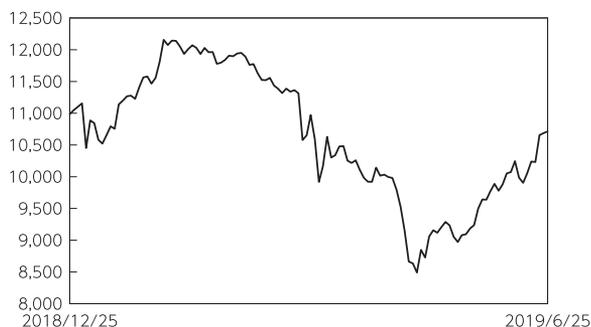
当ファンドでは、新光トルコ・リラ債券マザーファンド（以下、マザーファンド）を通じて、トルコ・リラ建てのトルコ国債や国際機関債などを主要投資対象としています。第73期首に2,653円からスタートした基準価額は、米国の追加利上げ観測の後退など外部環境に改善が見られたことに加え、トルコ中央銀行による早期利下げに対する警戒感も後退したことなどから、2019年2月6日に基準価額は当作成期間最高値となる2,948円となりました。その後は、政治的不透明感や対米関係悪化に対する懸念に加え、外貨準備高の減少などトルコ経済の抱える脆弱性にも注目が集まったことなどから、2019年5月10日に基準価額は当作成期間最安値となる2,192円となりました。当作成期間末にかけては、米欧の金融政策が緩和的になるとの期待感に下支えされたことや、インフレに鈍化が見られる中で将来的な政策金利引き下げが意識され債券価格にも上昇が見られたことなどから下げ幅を縮小し、2,617円で第78期末を迎えました。（文中の基準価額は当作成期間における分配金（累計）を単純に加算しています。）

## 投資環境（2018年12月26日～2019年6月25日）

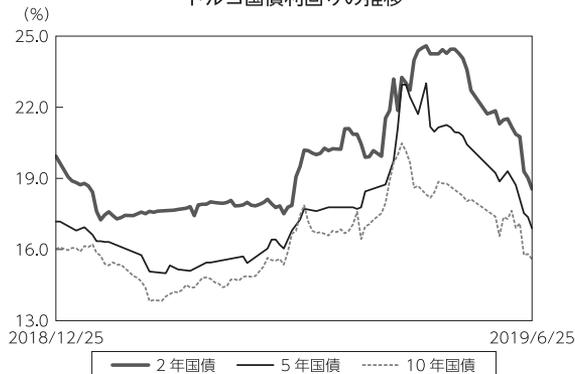
### トルコ債券市場

トルコ債券市場は、当作成期間を通じて見ると債券利回りは低下（価格は上昇）しました。当作成期間中頃にかけては、米国の追加利上げ観測が後退する中で、トルコ中央銀行による引き締めの金融政策が維持されるとの見方などから債券利回りは低下したものの、その後はロシア製ミサイル購入を巡る米国からの制裁リスクが懸念されたことに加え、トルコ経済の脆弱性も意識されたことなどから、債券利回りは上昇（価格は下落）に転じました。当作成期間末にかけては、世界的に金融政策が緩和的になるとの期待感や、国内のインフレに鈍化が見られる中、将来的な利下げを見込む動きも広がったことなどから、債券利回りは上げ幅を縮小しました。

JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン（円換算）の推移



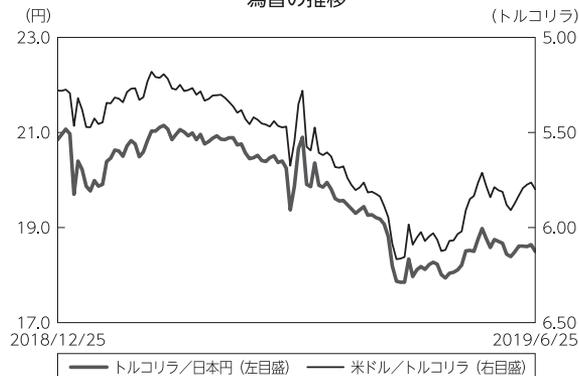
トルコ国債利回りの推移



### 為替市場

為替市場では、トルコリラは当作成期間を通じて見ると対円、対米ドルとともに下落となりました。当作成期間中は、米国の追加利上げ観測の後退など外部環境の改善に下支えされ堅調な推移が見られたものの、その後はインフレ格差などから恒常的に通貨が減価しやすい状況下、政治的不透明感の高まりや対米関係悪化に対する懸念など固有の悪材料が散見されたことなどから、下落基調での推移となりました。当作成期間末にかけては、米欧の金融政策が緩和的になるとの見通しが下支えとなったことに加え、政治リスクにも改善が見られたことなどから、下げ幅を縮小しました。

為替の推移



## ポートフォリオについて（2018年12月26日～2019年6月25日）

### ●当ファンド

当ファンドでは、マザーファンドを通じて、トルコ・リラ建てのトルコ国債や国際機関債などを主要投資対象としています。

マザーファンドの組入れを高位に維持しました。

### ●新光トルコ・リラ債券マザーファンド

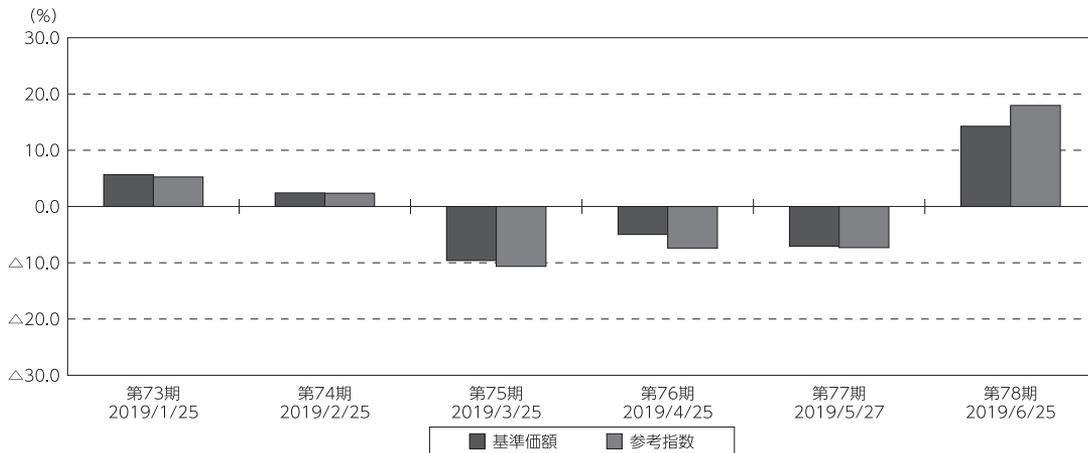
マザーファンドでは、トルコ・リラ建てのトルコ国債や国際機関債などを主要投資対象とし、当作成期間においては安定した利息収入の確保を目指し、トルコ・リラ建てのトルコ国債を高位に組み入れて運用を行いました。デュレーションについては、第73期首より参考指数であるJPモルガンGBI-EMトルコトータル・リターン（円換算）（第78期末時点で2.9年程度）に対して、当作成期間を通じて中立の水準としました。

## ベンチマークとの差異について（2018年12月26日～2019年6月25日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のコメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当作成期間における当ファンドの騰落率は、 $\Delta 1.3\%$ （分配金再投資ベース）、参考指数は $\Delta 2.5\%$ となりました。

【基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）】



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## ■ 分配金（2018年12月26日～2019年6月25日）

収益分配金につきましては運用実績・分配原資等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■ 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日	2019年3月26日～ 2019年4月25日	2019年4月26日～ 2019年5月27日	2019年5月28日～ 2019年6月25日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
（対基準価額比率）	1.249%	1.235%	1.383%	1.476%	1.611%	1.433%
当期の収益	27	25	18	22	22	22
当期の収益以外	7	9	16	12	12	12
翌期繰越分配対象額	900	891	878	865	853	842

- （注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金」（税込み）の額が一致しない場合があります。
- （注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金」（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- （注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

トルコ経済は、国内景気の弱い状態は継続するものの、経済的な脆弱性は徐々に改善していくことが期待されます。このような中、トルコ中央銀行は為替水準やインフレ動向を見極めながらの政策運営を維持すると思われませんが、政府のトルコ中央銀行に対する利下げ圧力や金融政策への介入姿勢には注意が必要です。

トルコ債券市場は、インフレの鈍化が見込まれることなどから安定的な推移が期待されるものの、為替市場の動向などを受けて値動きの荒くなる展開も想定されます。

### ● 当ファンド

引き続きマザーファンドの高位組入れを維持する方針です。

### ● 新光トルコ・リラ債券マザーファンド

マザーファンドの運用に当たっては、リスク選好が強まる場面では相対的に高い利回り水準が投資家需要を集めると期待されるものの、依然として多くの不確実性を伴うことから、現状の水準を維持する方針です。また、経済動向などを見極めながら適宜デュレーションの見直しを行います。加えて、イーロードカーブの形状を睨みながら機動的にポートフォリオを構築して行く方針です。

（2018年12月26日～2019年6月25日）

## ○ 1 万口当たりの費用明細

項 目	第73期～第78期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 17	% 0.668	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	( 8 )	(0.323)	投信会社は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	( 8 )	(0.323)	販売会社は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 1 )	(0.022)	受託会社は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.085	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.083)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合 計	19	0.753	
期中の平均基準価額は、2,541円です。			

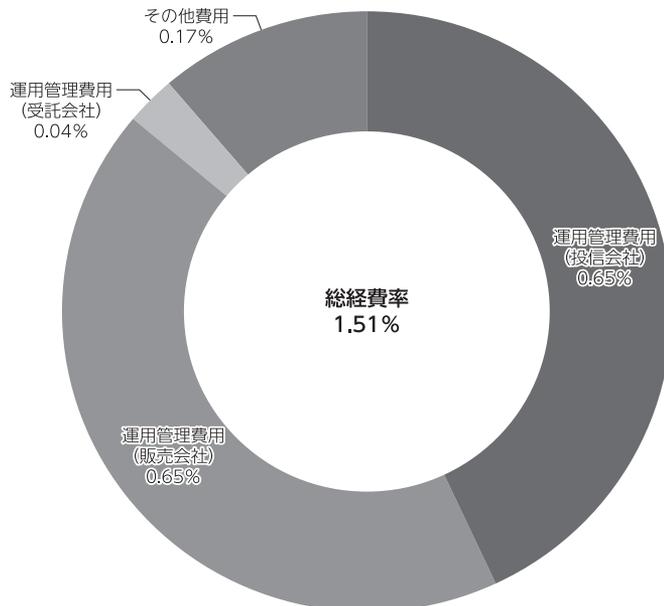
※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

**（参考情報）****◆総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.51%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年12月26日～2019年6月25日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第73期～第78期			
		設		解	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
新光トルコ・リラ債券マザーファンド		78,333	44,500	62,990	35,000

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年12月26日～2019年6月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年6月25日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	第72期末		第78期末				
		口	数	口	数	評	価	額
			千口		千口			千円
新光トルコ・リラ債券マザーファンド			479,329		494,672			268,557

## ○投資信託財産の構成

(2019年6月25日現在)

項	目	第78期末				
		評	価	額	比	率
				千円		%
新光トルコ・リラ債券マザーファンド				268,557		97.4
コール・ローン等、その他				7,130		2.6
投資信託財産総額				275,687		100.0

※外貨建資産は、第78期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年6月25日における邦貨換算レートは1トルコリラ=18.50円です。

※新光トルコ・リラ債券マザーファンドの外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、99.5%（267,144千円）です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第73期末	第74期末	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末
	2019年1月25日現在	2019年2月25日現在	2019年3月25日現在	2019年4月25日現在	2019年5月27日現在	2019年6月25日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	271,869,358	280,282,764	277,008,063	261,185,419	243,456,565	275,687,553
コール・ローン等	5,678,800	10,922,884	9,455,503	6,873,088	9,088,648	7,129,820
新光トルコ・リラ債券マザーファンド(評価額)	266,190,558	269,359,880	267,552,560	254,312,331	234,367,917	268,557,733
(B) 負債	3,913,626	3,856,315	4,624,123	4,156,880	4,205,476	4,356,000
未払収益分配金	3,387,632	3,454,989	3,819,609	3,848,566	3,919,118	3,945,409
未払解約金	229,264	82,642	517,689	—	—	132,668
未払信託報酬	295,888	317,772	286,003	307,436	285,542	277,131
未払利息	13	20	18	15	13	15
その他未払費用	829	892	804	863	803	777
(C) 純資産総額(A－B)	267,955,732	276,426,449	272,383,940	257,028,539	239,251,089	271,331,553
元本	967,894,878	987,139,790	1,091,317,059	1,099,590,290	1,119,748,067	1,127,259,912
次期繰越損益金	△699,939,146	△710,713,341	△818,933,119	△842,561,751	△880,496,978	△855,928,359
(D) 受益権総口数	967,894,878口	987,139,790口	1,091,317,059口	1,099,590,290口	1,119,748,067口	1,127,259,912口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,768円	2,800円	2,496円	2,337円	2,137円	2,407円

○損益の状況

項 目	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
	2018年12月26日～ 2019年1月25日	2019年1月26日～ 2019年2月25日	2019年2月26日～ 2019年3月25日	2019年3月26日～ 2019年4月25日	2019年4月26日～ 2019年5月27日	2019年5月28日～ 2019年6月25日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 396	△ 602	△ 330	△ 468	△ 401	△ 477
支払利息	△ 396	△ 602	△ 330	△ 468	△ 401	△ 477
(B) 有価証券売買損益	14,911,107	6,559,065	△ 28,333,247	△ 13,232,556	△ 17,937,779	33,823,291
売買益	15,107,322	6,670,352	112,060	13,773	6,622	34,689,584
売買損	△ 196,215	△ 111,287	△ 28,445,307	△ 13,246,329	△ 17,944,401	△ 866,293
(C) 信託報酬等	△ 296,717	△ 318,664	△ 286,807	△ 308,299	△ 286,345	△ 277,908
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,613,994	6,239,799	△ 28,620,384	△ 13,541,323	△ 18,224,525	33,544,906
(E) 前期繰越損益金	△379,807,096	△364,743,545	△340,376,608	△370,960,735	△387,999,221	△394,395,156
(F) 追加信託差損益金	△331,358,412	△348,754,606	△446,116,518	△454,211,127	△470,354,114	△491,132,700
(配当等相当額)	( 61,682,353)	( 63,708,101)	( 74,504,556)	( 75,629,568)	( 77,405,794)	( 78,784,367)
(売買損益相当額)	(△393,040,765)	(△412,462,707)	(△520,621,074)	(△529,840,695)	(△547,759,908)	(△569,917,067)
(G) 計(D+E+F)	△696,551,514	△707,258,352	△815,113,510	△838,713,185	△876,577,860	△851,982,950
(H) 収益分配金	△ 3,387,632	△ 3,454,989	△ 3,819,609	△ 3,848,566	△ 3,919,118	△ 3,945,409
次期繰越損益金(G+H)	△699,939,146	△710,713,341	△818,933,119	△842,561,751	△880,496,978	△855,928,359
追加信託差損益金	△331,358,412	△348,754,606	△446,116,518	△454,211,127	△470,354,114	△491,132,700
(配当等相当額)	( 61,710,728)	( 63,767,534)	( 74,798,298)	( 75,643,363)	( 77,447,405)	( 78,874,758)
(売買損益相当額)	(△393,069,140)	(△412,522,140)	(△520,914,816)	(△529,854,490)	(△547,801,519)	(△570,007,458)
分配準備積立金	25,427,969	24,254,806	21,032,872	19,538,365	18,111,180	16,044,138
繰越損益金	△394,008,703	△386,213,541	△393,849,473	△407,888,989	△428,254,044	△380,839,797

・信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目で配当等相当額と売買損益相当額にわかれます。

注記事項

・信託財産に係る作成期首元本額、作成期中追加設定元本額及び作成期中一部解約元本額

  作成期首元本額 1,000,789,894円

  作成期中追加設定元本額 295,578,743円

  作成期中一部解約元本額 169,108,725円

・分配金の計算過程

  第73期

  計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,621,789円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(61,710,728円)及び分配準備積立金(26,193,812円)より分配対象収益は90,526,329円(1万口当たり935.28円)であり、うち3,387,632円(1万口当たり35円)を分配しております。

  第74期

  計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,546,550円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(63,767,534円)及び分配準備積立金(25,163,245円)より分配対象収益は91,477,329円(1万口当たり926.69円)であり、うち3,454,989円(1万口当たり35円)を分配しております。

  第75期

  計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,043,889円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(74,798,298円)及び分配準備積立金(22,808,592円)より分配対象収益は99,650,779円(1万口当たり913.12円)であり、うち3,819,609円(1万口当たり35円)を分配しております。

  第76期

  計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,458,760円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(75,643,363円)及び分配準備積立金(20,928,171円)より分配対象収益は99,030,294円(1万口当たり900.60円)であり、うち3,848,566円(1万口当たり35円)を分配しております。

  第77期

  計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,509,612円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(77,447,405円)及び分配準備積立金(19,520,686円)より分配対象収益は99,477,703円(1万口当たり888.39円)であり、うち3,919,118円(1万口当たり35円)を分配しております。

  第78期

  計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,573,756円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(0円)、信託約款に定める収益調整金(78,874,758円)及び分配準備積立金(17,415,791円)より分配対象収益は98,864,305円(1万口当たり877.02円)であり、うち3,945,409円(1万口当たり35円)を分配しております。

## ○分配金のお知らせ

	第73期	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期
1 万口当たり分配金（税込み）	35円	35円	35円	35円	35円	35円

1. 分配金のお支払いは、決算日から起算して5営業日までに開始いたします。
2. 自動継続投資契約を結んだ方のお手取り分配金は、決算日の基準価額（分配落ち）にもとづき、それぞれの口座に再投資いたしました。
3. 分配金は普通分配金に課税されます。
4. 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

※分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）にわかれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2019年6月25日現在）

<新光トルコ・リラ債券マザーファンド>

下記は、新光トルコ・リラ債券マザーファンド全体(494,672千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第78期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
トルコ	千トルコリラ	千トルコリラ	千円	%	%	%	%	%
	16,510	13,823	255,737	95.2	95.2	53.7	9.4	32.2
合 計	16,510	13,823	255,737	95.2	95.2	53.7	9.4	32.2

※邦貨換算金額は、第78期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

※組入比率は、第78期末の親投資信託純資産総額に対する評価額の割合。

※信用格付けは、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、S & Pグローバル・レーティングを参考に記載しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第78期末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
トルコ		%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円		
	国債証券	TURKEY GOVERNMENT BOND	8.5	770	760	14,072	2019/7/10
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.5	2,760	2,622	48,524	2020/1/15
		TURKEY GOVERNMENT BOND	9.4	1,430	1,287	23,816	2020/7/8
		TURKEY GOVERNMENT BOND	9.5	1,000	825	15,262	2022/1/12
		TURKEY GOVERNMENT BOND	8.8	230	174	3,235	2023/9/27
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.4	450	358	6,629	2024/3/20
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.6	950	744	13,764	2026/2/11
		TURKEY GOVERNMENT BOND	11.0	2,320	1,794	33,196	2027/2/24
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.5	3,500	2,652	49,067	2027/8/11
		TURKEY GOVERNMENT BOND	12.4	3,100	2,603	48,168	2028/3/8
合 計						255,737	

---

---

# 新光トルコ・リラ債券マザーファンド

---

---

## 第6期 運用報告書

(決算日 2018年12月25日)

「新光トルコ・リラ債券マザーファンド」は、去る2018年12月25日に第6期の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をお知らせいたします。

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

形態	親投資信託
信託期間	原則、無期限です。
運用方針	安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	トルコ・リラ建ての公社債を主要投資対象とします。
株式組入制限	株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とし、転換社債の転換および新株予約権（転換社債型新株予約権付社債の新株予約権に限りません。）の行使により取得したものに限りません。
分配方針	運用による収益は、信託終了時まで投資信託財産中に留保し、期中には分配を行いません。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン (円換算)		債組入比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率		
	円	%		%	%	百万円
2期(2014年12月25日)	11,991	20.3	24,340.62	21.3	96.6	1,556
3期(2015年12月25日)	9,166	△23.6	18,925.34	△22.2	96.7	722
4期(2016年12月26日)	8,117	△11.4	16,885.20	△10.8	96.5	385
5期(2017年12月25日)	7,716	△4.9	15,875.32	△6.0	96.2	337
6期(2018年12月25日)	5,468	△29.1	10,987.07	△30.8	95.5	262

※△(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

※J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン(円換算)は、J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン(現地通貨)をアセットマネジメントOneが円換算したものです。

※J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン(円換算)は当ファンドの参考指数であり、ベンチマークではありません。

※ベンチマークとは、ファンドの運用成果の評価基準(目標基準)となる指標をいい、約款または投資信託説明書(目論見書)において、その旨の記載があるものを指します。

※J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン(現地通貨)に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

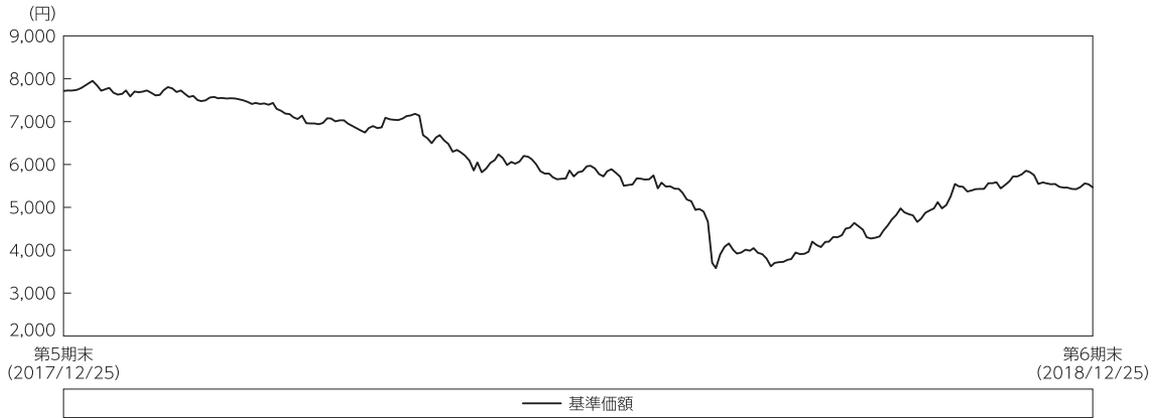
## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		J Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン (円換算)		債組入比率
	騰落	率	騰落	率	
(期首) 2017年12月25日	円	%		%	%
12月末	7,716	—	15,875.32	—	96.2
2018年1月末	7,778	0.8	16,149.71	1.7	96.1
2月末	7,625	△1.2	15,726.19	△0.9	95.2
3月末	7,523	△2.5	15,540.15	△2.1	97.0
4月末	7,076	△8.3	14,532.01	△8.5	96.2
5月末	7,148	△7.4	14,631.50	△7.8	97.8
6月末	6,237	△19.2	12,598.48	△20.6	95.9
7月末	5,959	△22.8	11,902.92	△25.0	95.7
8月末	5,436	△29.5	10,614.92	△33.1	94.6
9月末	3,625	△53.0	6,755.84	△57.4	92.1
10月末	4,506	△41.6	8,805.04	△44.5	92.2
11月末	5,120	△33.6	10,140.08	△36.1	96.8
(期末) 2018年12月25日	5,857	△24.1	11,736.29	△26.1	91.0
	5,468	△29.1	10,987.07	△30.8	95.5

※騰落率は期首比。

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移（2017年12月26日～2018年12月25日）



### 基準価額の主な変動要因

当ファンドはトルコ・リラ建の国債や国際機関債等に投資を行います。

基準価額は7,716円で始まり、期末には5,468円と2,248円値下がりし、当運用期間の騰落率は△29.1%となりました。

#### ①主たるプラス要因

保有債券からの利息収入。

#### ②主たるマイナス要因

債券価格およびトルコリラの下落。

## 投資環境 (2017年12月26日～2018年12月25日)

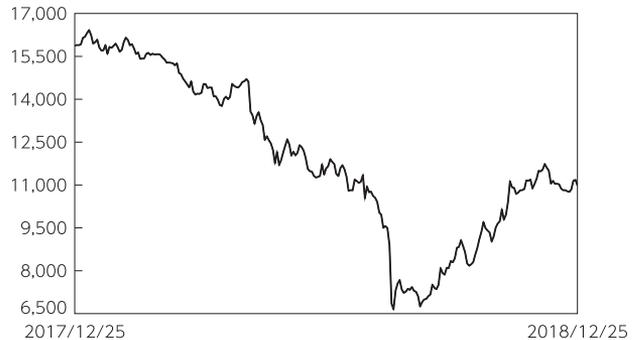
### トルコ債券市場

トルコ債券市場は、当期を通じて見ると債券利回りは上昇（価格は下落）しました。期初にはインフレ率の鈍化が確認されインフレ調整後の実質政策金利がプラスに回帰したことなどから、債券利回りは安定的な推移を見せたものの、巨額の経常赤字や二桁で高止まりするインフレ率などマクロ経済ファンダメンタルズ（基礎的条件）の脆弱さが目立つ中、政府の財政支出拡大などを背景にインフレ加速のリスクが懸念されたことなどから、債券利回りは上昇傾向となりました。その後は、欧州系金融機関によるトルコ向け融資の焦げ付き懸念や米国人牧師の拘束を巡り対米関係が悪化したことなどから、債券利回りは一段と上昇しました。期末にかけては、トルコ中央銀行が政策金利を大幅に引き上げる中、対米関係に改善が見られたことや、大幅な通貨安などに伴い国内景気が冷え込み、需給インバランスが改善したことなどが好感され、債券利回りは上げ幅を縮小しました。

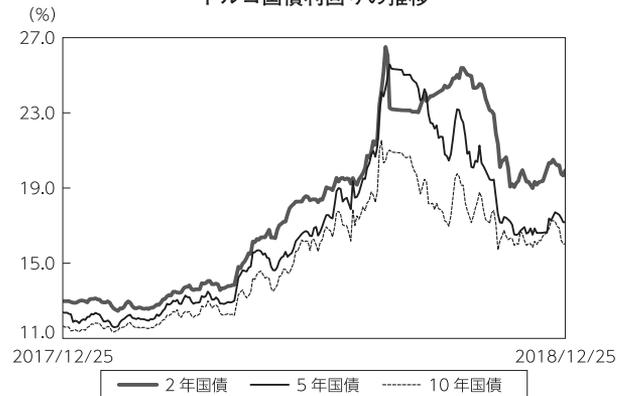
### 為替市場

為替市場では、トルコリラは当期を通じて見ると対円、対米ドルとともに下落となりました。期初には世界的にリスク資産が堅調な推移を見せるなど外部環境が追い風となる中、トルコ経済に対する改善期待も散見されたものの、日本銀行による金融政策の正常化観測などから円が強含んだことで下落となりました。その後は、巨額の経常赤字による資本流出圧力の高さなど、トルコ経済の抱える経済的な脆弱性に対する懸念が徐々に高まる中、トルコ企業向け融資の焦げ付きが懸念されたことや、対米関係の悪化なども投資家心理を冷え込ませたことなどから、下落幅を拡大しました。期末にかけては、急激な通貨安により国内経済が低迷する中、輸出入の改善や原油価格の下落を通じて経常収支が黒字転換したことに加え、米国との対立緩和など、トルコ経済の悪化リスクが後退したことなどから、下げ幅を縮小しました。

JPモルガン GBI-EM トルコ トータル・リターン (円換算) の推移



トルコ国債利回りの推移



為替の推移



## ポートフォリオについて（2017年12月26日～2018年12月25日）

ポートフォリオについてはトルコ・リラ建国債の高位組み入れを維持しました。デュレーションについては、参考指数であるJ Pモルガン G B I - E M トルコ トータル・リターン（円換算）（期末時点で3.0年程度）に対して、当期を通じて短めから中立の水準で適宜調整を行い、期末時点では中立の水準としました。

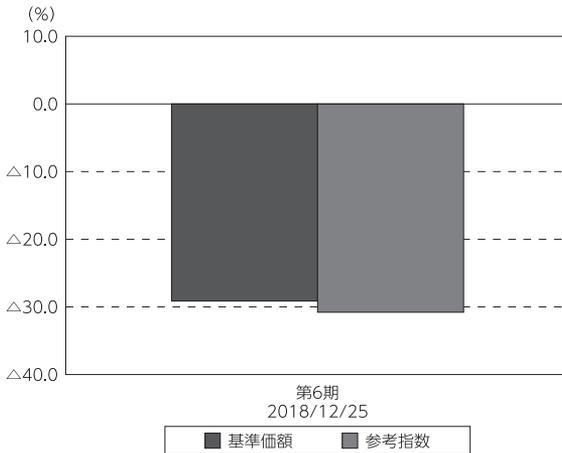
ポートフォリオの属性に関しては、期末時点において債券組入比率95.5%程度、平均クーポン10.6%程度、平均最終利回り17.9%程度、平均直接利回り13.1%程度、平均残存年数5.3年程度、平均デュレーション2.9年程度としております。（平均最終利回りは、キャッシュを含めたものです。）

## ベンチマークとの差異について（2017年12月26日～2018年12月25日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のコメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

当期における当ファンドの騰落率は△29.1%、参考指数は△30.8%となりました。

【基準価額と参考指数の対比（騰落率）】



## 今後の運用方針

トルコ経済は、国内景気の弱い状態は継続するものの、経済的な脆弱性は徐々に改善していくことが期待されます。このような中、トルコ中央銀行は為替水準やインフレ動向を見極めながらの政策運営を維持すると思われませんが、政府のトルコ中央銀行に対する利下げ圧力や金融政策への介入姿勢には注意が必要です。

トルコ債券市場は、リスク選好が強まる場面では相対的に高い利回り水準が投資家需要を集めると期待されるものの、目先は地方選挙を控え早期利下げに対する警戒感も残ることに加え、今後も主要国の金融正常化などを巡り値動きの荒い展開も想定されます。

今後の運用に当たっては、リスク選好が強まる場面では相対的に高い利回り水準が投資家需要を集めると期待されるものの、目先は地方選挙を控え早期利下げに対する懸念も残ることに加え、今後も主要国の金融正常化などを巡り値動きの荒い展開も想定されることから、現状の水準を維持する方針です。また、経済動向などを見極めながら適宜デュレーションの見直しを行います。加えて、イールドカーブの形状を睨みながら機動的にポートフォリオを構築して行く方針です。

(2017年12月26日～2018年12月25日)

## ○1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 8	% 0.136	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(8)	(0.132)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.004)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用
合 計	8	0.136	
期中の平均基準価額は、6,157円です。			

※期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

※金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

※比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2017年12月26日～2018年12月25日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	トルコ	国債証券	千トルコリラ 6,506	千トルコリラ 4,277

※金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

## ○利害関係人との取引状況等

(2017年12月26日～2018年12月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

(2018年12月25日現在)

○組入資産の明細

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千トルコリラ	千トルコリラ	千円	%	%	%	%	%
トルコ	14,800	11,998	250,176	95.5	95.5	50.9	9.4	35.2
合 計	14,800	11,998	250,176	95.5	95.5	50.9	9.4	35.2

※邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

※組入比率は、当期末の純資産総額に対する評価額の割合。

※信用格付けは、ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク、S & Pグローバル・レーティングを参考に記載しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
トルコ		%	千トルコリラ	千トルコリラ	千円		
	国債証券	TURKEY GOVERNMENT BOND	10.4	1,990	1,927	40,188	2019/3/27
		TURKEY GOVERNMENT BOND	8.5	500	468	9,765	2019/7/10
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.5	2,210	2,022	42,171	2020/1/15
		TURKEY GOVERNMENT BOND	9.5	1,000	781	16,283	2022/1/12
		TURKEY GOVERNMENT BOND	8.8	580	405	8,454	2023/9/27
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.4	800	599	12,504	2024/3/20
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.6	1,200	884	18,433	2026/2/11
		TURKEY GOVERNMENT BOND	11.0	1,920	1,408	29,374	2027/2/24
		TURKEY GOVERNMENT BOND	10.5	2,500	1,778	37,082	2027/8/11
		TURKEY GOVERNMENT BOND	12.4	2,100	1,722	35,917	2028/3/8
合 計						250,176	

○投資信託財産の構成

(2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 250,176	% 95.5
コール・ローン等、その他	11,912	4.5
投資信託財産総額	262,088	100.0

※外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年12月25日における邦貨換算レートは、1トルコリラ=20.85円です。

※外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、99.5% (260,874千円) です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2018年12月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	262,088,647
コール・ローン等	1,213,705
公社債(評価額)	250,176,871
未収利息	8,743,000
前払費用	1,955,071
(B) 負債	2
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	262,088,645
元本	479,329,580
次期繰越損益金	△217,240,935
(D) 受益権総口数	479,329,580口
1万口当たり基準価額(C/D)	5,468円

○損益の状況 (2017年12月26日～2018年12月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	25,686,412
受取利息	25,688,894
支払利息	△ 2,482
(B) 有価証券売買損益	△119,255,447
売買益	4,841,416
売買損	△124,096,863
(C) 保管費用等	△ 355,816
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 93,924,851
(E) 前期繰越損益金	△ 99,842,977
(F) 追加信託差損益金	△ 52,508,933
(G) 解約差損益金	29,035,826
(H) 計(D+E+F+G)	△217,240,935
次期繰越損益金(H)	△217,240,935

- ・追加信託差損益金とは、追加設定をした金額のうち元本を上下する額を処理する項目です。
- ・解約差損益金とは、解約元本額と解約代金との差額で解約元本額を上(下)回って支払うため損(益)金として処理することになっております。

注記事項

・投資信託の期首元本額、期中追加設定元本額及び期中一部解約元本額	
期首元本額	437,156,473円
期中追加設定元本額	118,508,933円
期中一部解約元本額	76,335,826円
期末元本の内訳	
新光トルコ・リラ債券ファンド(毎月決算型)	479,329,580円
合 計	479,329,580円